

■三條西実隆 公卿, 学者。応仁の乱期も京都に留まり, 生活には窮しながらも, 公武合体の象徴として尊敬され続けた。

さんじょうにしさねたか  
古河公方始・1455=

生, 公保の子。

公卿・学者・

・・・・・・1460= 5歳：父公保が死去。

**応仁の乱始**・1467=12歳：応仁の乱が起こり, 母と鞍馬に疎開。

・・・・・・1469=14歳：元服。実隆と改名。

・・・・・・1472=17歳：母が死去。

足利義政隠居1473=**18歳**：

加賀一揆始・1474=19歳：学習を積み, 歌人, 学者としても認められるようになり, **日記**(「実隆公記」)を付け始める。

・・・・・・1475=20歳：**\*足利義尚から「初心要記」の仮名加点を依頼される。**

・・・・・・1476=21歳：**肖柏との交際始まる。**

**応仁の乱終**・1477=22歳：

・・・・・・1478=23歳：勸修寺教秀の女と結婚。

山科本願寺・1479=24歳：屋敷が類焼, 新邸建築。

兼良+一休没 1481=26歳：**後土御門天皇の命により, 「狭衣」の能を新作する。**

義政政権放棄1482=**27歳**：

狩野正信絵師1483=28歳：「よろづの御のり」を撰する。

山城国一揆・1485=30歳：**宗祇・肖柏を招き, 「源氏物語」の受講を始める。**

・・・・・・1487=32歳：**宗祇より古今伝授を受け始める。**

加賀一揆支配1488=33歳：

銀閣寺完成・1489=34歳：「万葉一葉抄」成る。

**足利義政没**・1490=35歳：

**大内義興入京**1491=**36歳**：

子供も増えて金策が多くなる。

早雲小田原城1495=40歳：**\*「新撰菟玖波集」の編集に協力。**

・・・・・・1496=41歳：吐血して病臥。

・・・・・・1498=43歳：病氣再発。**治安の乱れに対し, 屋敷や荘園の保全に苦心。姉小路基綱と「両吟百首」を詠む。**

・・・・・・1500=**45歳**：屋敷が類焼, 新邸建築。

・・・・・・1501=46歳：**宗祇からの古今伝授終了。**

・・・・・・1502=47歳：「篠目」を著す。

・・・・・・1503=48歳：**自作の「狭衣」の能上演。「宗祇一回忌追善百韻」を張行する。**

・・・・・・1504=49歳：「弄花抄」第1次本を著すか。

・・・・・・1506=51歳：従二位, 内大臣にいたったが, この年辞任。

・・・・・・1509=**54歳**：

**朝鮮三浦の乱**1510=55歳：**徳大寺実淳に古今伝授する。「弄花抄」第2次本を著す。**

・・・・・・1513=58歳：「細流抄」成る。「聖廟法楽何路百韻」を独吟する。

・・・・・・1515=60歳：富小路資直と田楽を興行。**従一位昇叙を固辞し,**

大内対明貿易1516=61歳：**出家するも,**

3年程隠棲した後,

**義興周防帰国**1518=**63歳**：**\*以前と同様の活動を続ける。家計は相変わらず窮迫。書写や蔵本の売却などにより凌ぐ。**

・・・・・・1519=64歳：「多武峰大明神法楽何船百韻」を催す。

足利義晴將軍1521=66歳：**宗碩と「住吉法楽千句」を詠む。**

・・・・・・1522=67歳：「伊勢物語直解」を著す。

**寧波の乱**・1523=68歳：

・・・・・・1524=69歳：「高野山参詣記」を著す。

・・・・・・1527=**72歳**：

大内義興没・1528=73歳：「細流抄」成る。

・・・・・・1529=74歳：**後奈良天皇に古今伝授。**

遣明船復活・1530=75歳：文庫を建てる。**「中将姫物語」を書く(「中将姫本地」か)。**

**天王寺合戦**・1531=76歳：

・・・・・・1534=79歳：宗祇三十三回忌に, 千句連歌会を催す。

天文法華の乱1536=**81歳**：**日記**(「実隆公記」)を終り,

・・・・・・1537=82歳：**\*大内義隆問・三條西実隆答「多々良問答」成ったところで, 没した。**  
「雪玉集」。歴史学者原勝郎が「実隆公記」を材料に「東山時代に於ける一縉紳の生活」を著している。

吉川弘文館人物叢書, 「没年日本史人物事典」, 「人物日本歴史館」, 平凡社百科事典,